

## 市長の活動報告（令和7年9月）

### 9月3日（水曜日） ゆきかう那賀川推進会議

那賀川の流域に住む人たちの交流や連携を深めるための様々な取り組みを行うことを目的に結成されている「ゆきかう那賀川推進会議」の活動に参加しました。

目的達成のため取り組んできた事業成果の報告のほか、那賀川流域の環境保全や魅力向上についての意見交換を行い、流域全体の持続可能な発展に寄与するための活発な議論を行うことができました。

私自身、那賀川流域の上流に位置する那賀町との関係性を大切にしながら、流域全体で発展するよう、国への要望活動をはじめ、様々な活動に取り組んでまいります。



### 9月7日（日曜日） 徳島県人会近畿連合会総会及び2025県人の集い

関西の地において、徳島県出身者の絆を強め、ふるさとの発展のため様々な活動をおこなっている「徳島県人会近畿連合会」の総会及び2025県人の集いに参加しました。

総会では、出席した市町の首長を代表してあいさつをする機会を得て、本市の近況などをご紹介させていただきました。加えて、県人の集いでは、多くの参加者の皆さまと意見交換を実施するとともに、新たな人脈づくりを行うこともできました。

引き続き、本市のPR活動など積極的なトップセールスを展開してまいります。



### 9月20日（土曜日） 阿南市民デー 徳島ヴォルティス vs 北海道コンサドーレ札幌

鳴門市のポカリスエットスタジアムで「阿南市民デー」として開催された徳島ヴォルティス vs 北海道コンサドーレ札幌の公式戦に参加し、両チームのサポーターの皆さまに来場のお礼と本市の紹介などを行わせていただきました。

当日は、7,000人を超える方々にご来場いただいたほか、阿南工業高等専門学校の皆さまのご協力により、竹人形を用いたLEDボトルづくりのブース出展や吹奏楽部の演奏を行っていただきました。

官民連携による、阿南市の魅力発信の重要性を改めて実感したほか、今後も様々な団体等と協力をし、新たな魅力づくりに尽力いたします。



## 9月27日（土曜日） みなみ阿波「想いを継ぐみち」シンポジウム2025

地域住民が一体となって高規格道路整備に対する想いをメッセージにし、地域の総意として発信することを目的として開催された、みなみ阿波「想いを継ぐみち」シンポジウム2025に出席いたしました。

私自身、道路の重要性を痛感していることから、積極的な要望活動を展開しているところですが、この度のシンポジウムには約550人の方にご参加いただき、改めて徳島南部圏域における道路の必要性を身に染みて実感いたしました。

加えて、株式会社メディアドゥの藤田代表取締役社長CEOによる、「ふるさとに対する想い」と題した講演を行っていただいたほか、新たな取組として県南部の中高生や新社会人など5人に、「高規格道路」に対する熱い想いを語っていただくなど、参加者全員の想いを共有する大変素晴らしいシンポジウムになったと感じております。

引き続き、皆さま方の「熱い想い」を受け止め、地域のリーダーとして、国、県、南部圏域の自治体と緊密な連携を図り、一日も早い高規格道路の全線開通にまい進してまいります。

## 9月28日（日曜日） SUP TOWN ANAN CUP 2025

本市では、地域と多様かつ継続的に関わる「関係人口」を増やし、地域ブランディングと地域経済の好循環につなげる「阿南SUPタウンプロジェクト」に鋭意取り組んでおり、本プロジェクトの主要事業「SUP TOWN ANAN CUP2025」を淡島海岸で開催するにあたり、主催者としてあいさつをさせていただきました。

当大会は、日本サップ協会の公認大会で全日本選手権の予選を兼ねており、九州、中国、四国、関西、関東、東北と全国各地から129名の選手（内県外105名）が参加してくれました。四国地方では公認大会が少ないことから、阿南サップ大会はすっかり定着しています。特に香川、愛媛、兵庫の選手及び関係者は繰り返し、ご参加いただいております。関係人口創出に大きな成果を挙げています。また、今大会はアフターイベントとして力自慢ベンチプレス大会や海の運動会に加えてあわしまマルシェなど楽しい催しも同時開催しました。

参加者からは「レースだけでなくアフターイベントが楽しくいい大会でした」との声を多数いただきました。

今後も「エンジョイSUP」を合言葉に、主管団体である一般社団法人グランフィットネス阿南観光協会、サステナブル阿南の皆さん、そして地元畷町、福村漁協の皆さま、そのほか関係する全ての皆さまとともに楽しく阿南を盛り上げてまいります。

